2019年度 電気通信 自学課題 1

(2019.4.17)

5E 番号 20 名前 佐藤 麦维

1. 130 台の電話が交換機に接続され1台当たりの通話時間は1時間当たり4分である。交換機の出線が3本で、1本当たりの処理呼量が0.7[E]の場合の電話回線の呼損率を求めよ。

$$B = \frac{\alpha' - \alpha'_{c}}{\alpha'}$$

$$B = \frac{\frac{26}{3} - 2.1}{26} = \frac{\frac{26 - 63}{3}}{\frac{26}{3}} = \frac{\frac{26 - 63}{3}}{\frac{26 - 63}{3}} = \frac{\frac{26 - 63}{3}}{\frac{26$$

2. 電話回線における呼損率の定義を文章で述べよ。またユーザーに最良の状態と最悪の状態では呼損率はいくらになるか述べよ。

c于が交換機で直ちに处理はれず, 話中とは3確率

3. SN 比が 11 である通信回線において、周波数帯域が 2MHz 確保されている場合の通信容量を求めよ。

4. 周波数帯域 8MHz の通信チャンネルにおいて 30Mbps の通信容量を確保するために必要な電気信号の SN 比を求めよ。

$$30M = \log_{2}(1+\frac{S}{N})^{8M}$$

$$30M = 8M \log_{2}(1+\frac{S}{N})$$

$$30 = 8 \log_{2}(1+\frac{S}{N})$$

$$\log_{2}(1+\frac{S}{N}) = \frac{30}{8}$$

$$1+\frac{S}{N} = 2^{\frac{30}{8}}$$